第36回全国中学校アイスホッケー大会優勝報告、全道クロスカントリースキー新得大会　ほか

9ゴールに絡む大活躍で全国制覇

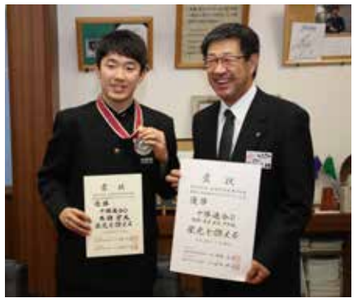
第36回全国中学校アイスホッケー大会優勝報告

第36回全国中学校アイスホッケー大会（1月22日～24日、群馬県渋川市）を制覇した十勝連合Dの一員として優勝に貢献した木綿宏太くん（屈足中3年）が2月5日、町長室を訪れ、浜田正利町長に全国制覇を報告しました。

木綿くんは、大会中6ゴール3アシストと9ゴールに絡む活躍で優勝に貢献しました。

3月には、全日本少年アイスホッケー大会中学生の部に出場予定。「1番上の学年なのでチームを引っ張りたい」と意欲を示しました。

浜田町長は、「みんなが一生懸命やってくれることが町にとっても良いこと。次に向けて頑張って」と激励しました。



全国制覇を報告した木綿くん（左）と町長

力強く雪の上を滑走

全道クロスカントリースキー新得大会

第66回全道クロスカントリースキー新得大会兼第35回全十勝クロスカントリースキー屈足大会（十勝スキー連盟・新得スキー連盟主催）が2月7日、サホロリバーサイドクロスカントリースキーコースで行われ、小学生から大人までの男女48人が力強く雪の上を滑走しました。

結果は次のとおり（新得関係分学年、男女別1位のみ掲載）

［男子］▼1・7キロ◇小学1年＝谷口淳基▼2・5キロ◇小学4年＝渡辺陸玖▼3・4キロ◇小学5年＝鳥井清登◇小学6年＝上田真也▼5キロ◇中学1年＝木綿啓太◇中学2年＝田中遥輝◇中学3年＝田中風太

［女子］▼2・5キロ◇小学4年＝小林琉花▼3・4キロ◇小学5年＝目黒結愛那

颯爽と雪の上を滑走

第27回新得町民スキー大会

第27回新得町民スキー大会が2月28日、新得山スキー場で行われました。昨年、一昨年は雪不足によるゲレンデの不良で中止となっており、3年ぶりの開催。111人が参加し、颯爽とした滑りを披露しました。

結果は次のとおり、（競技区分別1位のみ掲載）

［男子スキー］◇幼児＝金子莉大◇小学1・2年＝森田大翔◇小学3・4年＝森田隼翔◇小学5・6年＝松本空◇中学高校＝渡辺海翔◇一般＝金子大

［女子スキー］◇幼児＝松本もえ◇小学1・2年＝松本美麗◇小学3・4年＝長谷川生◇小学5・6年＝小林若菜◇中学高校＝小林彩乃

［スノーボード］◇小学4年以下＝大内理瑚◇小学5・6年＝豊川野々花◇中学以上＝田中鉄男

晴天の下、雪と親しみ健康づくり

第36回町民歩くスキーの集い

第36回町民歩くスキーの集い（新得町歩くスキーの会主催）が2月28日、サホロリバーサイド運動広場・歩くスキーコースで行われ、約30人が参加しました。

この集いは、冬季の健康づくりと気軽にできる軽スポーツの一つとして楽しみながら雪と親しみ、さらに町民間の交流を深めることを目的として行われています。

この日は風もなく、晴天に恵まれ絶好の運動日和となり、最高齢91歳までの参加者は、景色を楽しみつつ歩くスキーで汗を流し、3・5キロを歩き終えた人には完歩証が手渡されました。

認知症高齢者ふれあい支援員研修会、認知症サポーター養成講座　ほか

認知症の理解と関わり方を学ぶ

認知症高齢者ふれあい支援員研修会

認知症高齢者ふれあい支援員全体会議と現任研修が2月10日、町保健福祉センターで行われ、ふれあい支援員11人が参加しました。

研修会では医療法人博仁会大江病院の認知症看護認定看護師看護主任大森亮子さんが「認知症の理解と関わり方、受診行動のタイミング」と題して講演され、参加者は真剣な面持ちで聴き、知識を深めていました。

ふれあい支援員は、町内の認知症やうつ症状のかたなどの家を訪問し、見守りや話し相手をする有償ボランティアで、現在15人が登録し活動しています。

認知症の対応を学ぶ

認知症サポーター養成講座

新得消防団（広瀬顕嗣団長）への認知症サポーター養成講座が3月1日、新得消防署で開かれ、団員38人が参加しました。

認知症に関する正しい知識を身につけ、救急時や日常生活で認知症の人や家族に適切に対応できるようにしようと、新得やすらぎ荘の斉藤久恵さんを講師として迎え、認知症の症状や声掛けの方法などを学びました。

斉藤さんは、「認知症の対応は声掛けが大事。焦らせないようにしてほしい」と話し、広瀬団長は、「活動の中では認知症の人との対応もある。今日学んだことを活かしていきたい」と話していました。

地域の発達支援の取り組みを考える

発達支援講演会

平成27年度十勝管内発達支援連絡協議会アドバイザー招へい事業「発達支援講演会」が2月22日、町公民館で開かれ、町内、清水町、芽室町、幕別町から約60名が参加しました。

講師として、びわこ学院大学教授、特別支援教育士スーパーバイザーでもある藤井茂樹さんをお呼びし、「地域で発達支援に取り組む必要性～地域全体で発達支援を推進するには」という演題で講演いただきました。

教育現場や地域での特別支援との関わりや医療・福祉の支援などに触れ、「思いを持った人がいれば自ずと取り組みができてくる。町独自の取り組みを考えて欲しい」と藤井さんは話していました。

講演を行った藤井さん

高橋知事がスクール生・OBと懇談

北海道知事がレディースファームスクールを訪問

高橋はるみ北海道知事が2月15日、レディースファームスクールを訪問し、実習中の菊地葉月さん、坂本優衣さん、修了生の西尾文生さん、後藤涼さんと昼食のそばを食べながら懇談をしました。

昼食のそばは、上佐幌の湯浅民子さんが手打ちした新得地鶏のかしわそばが提供され、高橋知事は「すごくおいしい」と舌鼓を打っていました。

高橋知事は「これからは女性の時代と言われるがなかなか来ない。農業分野は特に女性の進出が遅れていると感じている。その中で果敢に挑戦している皆さんの姿は素晴らしい」と話していました。